

第二回 立高時代塾

参加申込 担任に申し出て下さい。(定員 40 名)

日 程 平成 29 年 1 月 21 日 (土)

時 程 (休憩時間を含む)

会 場 多目的ホール

13:00-14:00 講師による講演

対 象 立高在校生

14:00-15:00 グループ演習

テーマ 『いま、そこにある危機』

15:00-16:30 グループ発表

～気象予報の災害活用～

16:30-17:30 講師による講評と解説

講 師

佐藤公俊 先輩

(高校 43 期)



NHK 総合テレビ「気象情報」キャスター

一般財団法人日本気象協会勤務、気象予報士、防災士

明治大学農学部卒業

国民の誰もが見たことのある、今、最もテレビ画面に登場する卒業生で、大学在学中に第 1 回気象予報士試験(1994 年)に合格した気鋭の気象予報士先駆者。2003 年から NHK テレビに出演し、現在は平日昼の「気象情報」にレギュラー出演中。立高時代は野球部内野手&主将で、まったく妥協を許さないキャプテンシーは歴代でも最も厳しい主将のひとりとして語り継がれる。野球部 OB「マスタース甲子園」チームのレギュラーとして甲子園大会に出場。特技は手話、パントマイム。著作に『パーフェクト図解 天気と気象 異常気象のすべてがわかる』(学研パブリッシング、2013 年)

ゲスト

青木 孝 先輩

(高 16 期)

(株)ウェザーニュース勤務、元気象庁予報課長

気象予報士

内 容

地球は球体であり、太陽から受けるエネルギー量が極と赤道付近では違うことから生じる温度差の緩和を低気圧などの気象が行なっていますが、近年はこの活動に異変が見られます。低気圧とひと言に言っても、それには温帯低気圧、熱帯低気圧、台風や、竜巻も含まれます。特別授業では気象予報の限界(予報が外れる理由)についても学ぶとともに、「低気圧」について掘り下げて学習することで、最近の大雨台風やゲリラ豪雨といった自然災害をもたらす気象現象について理解し、そこから皆さんが気象情報を防災にいかに関活用するかについて考えます。グループ演習・発表では皆さんの自由な発想や想像力を発揮できる課題が示されるので、チームで考えて発表して講師に講評と解説をして頂きます。受講者には、講師と受講者が課題演習を通して双方向で学び合う「ワークショップ」というセミナースタイルを体験して貰います。ゲストに気象庁で予報責任者を務められた青木孝先輩も参加する豪華講師陣です。

立高時代塾とは

立高の財産である各界の一線で活躍する「本物」のリーダーである卒業生を招き、大学のゼミナールや企業の研修でも行なう形式の課外特別授業。在校生なら学年を問わずに参加でき、プロフェッショナルの話から「深い学び」ができる貴重な機会です。

